

親学習

in 府立千里青雲高校

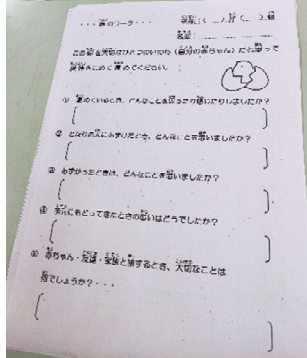
令和3年11月26日(金)

【授業のルールの確認】

- ① Listen 聴く
- ② Open (心を) 開く
- ③ Voice 声を出す
- ④ Enjoy 楽しむ

4つの頭文字を取って「LOVE」♡

自分の気持ちを振り返るためのワークシート



赤ちゃんのイメージは？
まず、最初に授業の4つのルール(囲み参照)を確認し、赤ちゃんから連想するものについて、発表しました。「小さい」、「ミルク」、「うそをつかない」など、それぞれ思いついたものを発表し、赤ちゃんに対するイメージを膨らませました。

大阪府立千里青雲高等学校で開講されている「ペアレンディング」という授業の中で、親学習について学ぶ時間が設定されています。対象は選択科目として受講を希望した生徒、講師は地域で活躍されている親学習リーダーの方です。今回は「たまごのワーク」と呼ばれる、卵を赤ちゃんに見立てて、親の気持ちを疑似体験する内容の授業を訪問取材させていただきました。

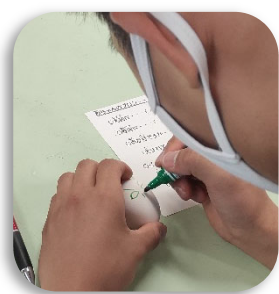


私の子どもは卵
さて、いよいよ卵の登場です。配られた卵にそれぞれで自由に顔を書きます。この卵が自分の子どもです。卵に先ほどの願いを伝えるため、目を閉じて心の中で会話をしたあと、隣の人に自分の卵を預けるといふシチュ

自分の子どもへの思い
次に赤ちゃんの人形が登場。ぎこちなさを感じる生徒もいましたが、優しくそっと抱っこをしていったのが印象的でした。その後、自分に子どもができたら、どんな名前を付けるか、どんな子どもに育ってほしいかなどを考え、発表し、子どもへの想いを共有しました。



赤ちゃん人形を抱っこする生徒。「年の離れた兄弟がいるので、抱っこは慣れていました。」と話す生徒も。



卵に顔を描く生徒。生徒全員、とても真剣に卵に顔を描いていました。

エーシオンを設けました。生徒に、その時の気持ちについて質問すると「不安になった」、「ちゃんと面倒見てくれるかな」という気持ちになったといった預ける側の気持ちだけでなく、「よその子の面倒をみるのは大変」といった、預けられる側の感想もありました。授業の終わりには子育てについての詩の朗読があり、「自分の親が自分にしてくれることもあった」、「自分の子どもにも同じようにしようと思う」となどの感想がありました。